

町政懇談会

「いきいきパパママ・ふれあいトーク」を開催しました



町政懇談会の今年度第二回目をすこやか健康センターで、うさこちゃん遊びの広場にお伺いして開催しました。今回は幼稚園・保育園に入園前のお子さんの保護者を対象に町長と意見交換を行いました。その時の様子をご紹介します。

（印は参加者の発言内容、印は町長他、町の発言内容です。掲載の都合から、発言の内容は一部編集して掲載しています。）

◆家に車がない場合、うさこちゃんのような子育ての事業へ参加するのが大変なので、その時間帯に利用できる乗り物があると参加し易いと思います。

子育て支援にはいろんな形があつて今言われたような移動手段の確保もありま

すが、それ以外にもいろんな課題があるのでそれも含めて考えていきたいと思えます。

◆水場などがあつて、小さい子どもが遊べる公園をつくってほしい。

新たにつくることになると思ふので、今ある公園を見直す時に参考とさせていただきます。

◆病気の回復期の子どもなど集団の中に預けることが難しい子どもを預けることができる場所があると助かります。子育てをひと段落したお母さんたちが登録制みたいな形で家庭で預かってもらえるようなものがあると思います。

子育ての状況も昔と違い両親共働きなどが増えてきているように、いろいろ変わってきていると思います。

公的な部分だけでの対応では難しいこともあると思うので、一時預かりなどについてはそこらへんも踏まえ今後話し合いの中で提言していきたいと思えます。

◆保育料は安くならないですか？支出とかも家庭によつて違うし、例えば医療費がタダというのは助かるけれども小児科がいつでもあるわけではないので交通費もかかります。収入だけで判断するのではなく生活の背景をみて考えてほしいです。

保育料については国で定める一定の基準で所得に応じた階層によつて決定されます。保育料だけのことではなく、いろんな角度からの子育て支援、ご家庭の支援が必要だと思えます。

お問い合わせ

総務課広報聴係

☎ 62・1211